

[017] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9889>

出版情報：中国文学論集. 17, 1988-12-31. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

『中國文學論集』第十七號をお届けします。本號は、計らずも國際色豊かな論集となりました。まず巻頭に掲げたのは、本年度四月、陳熙中先生の後任として、廣州の暨南大學からお迎えした李文初先生による論文です。先生は六朝文學を御専門とされ、演習に於いても、この時代を中心とした講義に熱辯を揮っておられます。また、一九八八年夏、ソウル大學と九州大學との學術交流を企圖して、その第一回大會がかの地にて開催されましたが、本號の結びを飾る秋吉先生の論文は、その時の御發表をもとにしたものです。こうした國際化の波は、今後とも一層推し進められることでしょう。どの國の學者とも對等に議論できる論文を目指して、日々着實な研究を積み重ねて行きたいものです。

ところで、現在、わが中文研究室と中國學關係の書庫の中には、日毎月毎に増殖して行く書物や新聞・雜誌類のために、ほとんどバンク状態に陥っています。書庫の増設が切望されると同時に、従来とは桁違いの情報量と付き合っていくためには、今後新しい視點からの情報處理システムも必要となるのではないのでしょうか。ちなみに、本年度から、京都大學東洋學文献目録センターのデータベースを、九大の大型電算機センターの端末機に呼び出し、利用することができるようになりました。いずれ、この『中國文學論集』所收論文の題目も、目に見えない情報網に乗って日本中の空を駆け廻ることになるでしょう。

(柳川順子記)

(付記) 次號の原稿締切は、例年どおり、九月末日と致します。奮って御投稿ください。特に、本論集の賣り物だったと聞く「書評」が、近年ぶっつりと途絶えていることは寂しい限りです。是非とも復活させようではありませんか。